

学校教育目標	たがいに努める子(やる気) たがいにきたえる子(元気) たがいに手をとる子(勇気)
目指す学校像	信頼を土台に一人ひとりが輝ける学び舎

重点目標	1 児童の学びの過程を重視し、リアルとバーチャルのそれぞれの良さを生かした指導の充実 2 児童一人ひとりに「心の居場所」がある学校 3 コミュニティ・スクールを核とし、お互いの顔が分かる学校と保護者、地域との関係づくり 4 心理的安全性が高く気持ちの良く整った教育環境 5 教育の「プロ」としての自覚をもち持続的に成長し続ける教職員集団
------	--

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標					年度評価		実施日令和8年2月17日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	<現状> ○令和7年度さいたま市学習状況調査では、国語科算数科ともに市平均をやや下回っている。 ○国語科の「読むこと」の結果は向上。 ○基本的な計算技能はおおむね身に付いている。 <課題> ○理由や事例を挙げて構成を考え、言葉や数式で表現する場面。 ○複数の情報から必要な内容を選び、道筋を立てて考える力。 ○デジタル学習基盤を活用した学習者主体の学びの推進	・基礎基本の確実な定着を目指す指導の充実 ・思考・判断・表現の力を伸ばす授業改善	①新タブレットを積極的に活用し、リアルとバーチャルのそれぞれの良さを生かした学びの中で、児童一人ひとりの課題に合った学習を進める。 ②授業のねらいや評価規準を児童と共有し、丁寧な学習の振り返りを行う。	①児童一人ひとりの課題に応じた指導をすることができたか、タブレットを効果的に活用できていたか(各教員の振り返り)。 ②さいたま市学習状況調査の同集団を比較し、生活習慣に関する調査の主體的な学びに関わる質問で肯定的結果が向上したか(児童の振り返り)。				
2	<現状> ○いじめの認知を積極的に行い、早期発見し組織的に対応を行い、教職員間での情報共有ができている。 ○生徒指導上の課題が多様化してきている。 <課題> ○「三つの基本(あいさつ、靴のかかとそろえ、チャイム着席)」の定着度。 ○人間関係づくりに悩む児童への迅速かつ丁寧な支援や指導の充実。	・基本的な生活習慣や規範意識の定着 ・「心の居場所」のある学校づくり	①「三つの基本(あいさつ、靴のかかとそろえ、チャイム着席)」の指導の徹底を継続する。 ②課題を小さなうちに発見し、迅速に丁寧に組織的対応をするとともに、積極的生徒指導を推進する。	①学校生活の様々な場面で「三つの基本」の指導を継続的に実施したか。 ②諸課題に対し迅速で丁寧な組織的対応を行うことができたか。				
3	<現状> ○『つなげよう あいさつ 伝えよう ありがとう 深めよう きずな -学校・家庭・地域が手を取り合って-』のテーマで地域・保護者との協働活動に取り組んでいる。 ○学校公開や説明会等の情報発信を行っている。 <課題> ○環境美化の協働活動がより充実し目的を果たせるよう工夫改善。 ○児童の地域への意識・関心の向上。	・顔の分かる関係をつくる持続的な協働活動の実施 ・積極的な情報発信と開かれた学校づくり	①地域で自分らしさを発揮できる児童の育成に向けて、お互いに顔の分かる協働活動(環境美化)を継続する。 ②各自治会や防犯ボランティア等と積極的に連絡・連携し安心・安全な地域づくりに寄与する。	①協働活動(環境美化)を具体的に計画し実践することができ、地域や保護者との顔の分かる関係が広がったか。 ②各自治会や防犯ボランティア等との連絡・連携を図り、具体的な行動を実行することができたか。				
4	<現状> ○確実な安全点検の実施と対応で、施設の修繕漏れによる事故は起きていない。 ○怪我の減少に向けて取り組んでいるが、昨年度は発生数に減少傾向がみられなかった。 <課題> ○教室内の整理整頓や清掃などの環境整備。 ○施設の安全性の向上。 ○更なる怪我の発生数の減少 ○心理的安全性の醸成	・施設や備品の安全管理の徹底 ・安心・安全で美しい教育環境の整備	①事故の可能性を想定しながら確実な安全点検を確実に実施し、不備については迅速な対応を行う。 ②安全な学校生活を繰り返し指導するとともに、緊急時の即時適切な対応と保護者への連絡を徹底する。	①安全点検の実施を徹底することで施設設備の状況や備品の管理状況を常に把握し安全な教育環境を維持できたか。 ②緊急時の対応や保護者との連携を、常に迅速に丁寧に行うことができたか。				
5	<現状> ○教職員の同僚性は高い。 ○学校課題研修に一人ひとりが自覚をもって取り組み、授業改善に努めている ○新たな学校課題やその他の校内・校外の研修に積極的に参加し、資質向上に努めている。 <課題> ○新たな ICT 機器やシステムの活用方法。 ○不断の授業改善とカリキュラムマネジメントの推進。 ○業務負担の適正化と時間外在校時間の縮減。	・教育実践を通じた指導力の向上 ・「さいたま市立学校における働き方改革マスタープラン」に基づく持続可能な組織の構築	①学校課題研究を組織的に実施し指導力の向上を図る。 ②学校課題研究の主題「自立した学び手の育成」に沿い、それぞれ実践や情報交換を行うことで指導力の向上を図る。	①相互参観や情報交換をして組織的に指導力を高め合う研修を実施できたか。 ②教職員の学校評価において教科指導等に関する項目について、十分満足の回答が前年より増加したか。				